

ご自由にご覧ください

みちの井戸端会議



「調布市道路網計画」で計画検討路線として位置付けている
「調布都市計画道路3・4・26号多摩川三鷹線」の周辺の
交通環境について、ご意見をお聴かせください。

調布市 都市整備部 街づくり事業課

みちの井戸端会議とは

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市は、広域的な移動を支える「都市計画道路」と地区内の移動を支える「生活道路」を体系的、機能的に連携した道路網として、バランスよく整備していくことが重要であると考え、「調布市道路網計画」を平成28年3月に策定しました。

今回のみちの井戸端会議は、「調布市道路網計画」で計画検討路線に位置付けた「調布3・4・26号線」周辺の交通環境の課題等を共有することを目的に実施するものです。

皆さまのお考えをお聴かせください。



調布市道路網計画とは

市は、広域的な移動を支える「都市計画道路」と地区内の移動を支える「生活道路」を体系的、機能的に連携した道路網として、バランスよく整備していくことが重要であると考え、「調布市道路網計画」（以下「道路網計画」という。）を策定（平成28年3月）しました。



調布市道路網計画

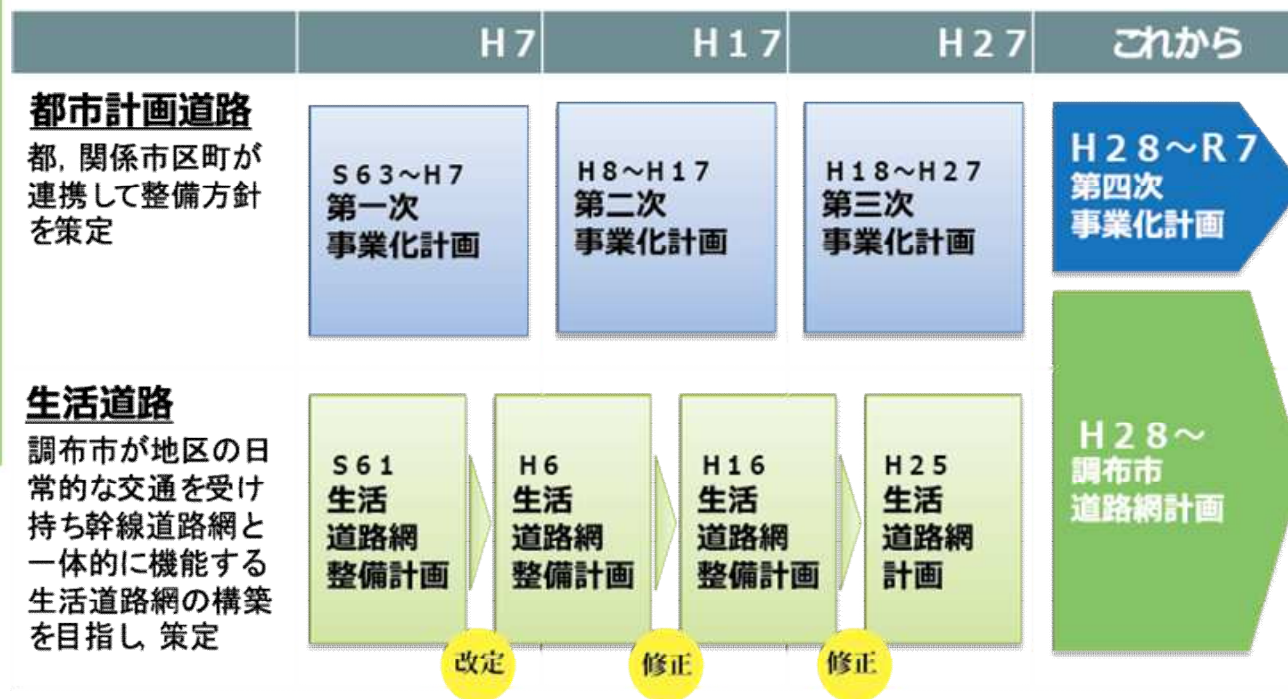


図 調布市における都市計画道路，生活道路の計画の変遷

調布市道路網計画 一道路網計画の構成一

道路網計画は、都市計画道路を対象とした「広域道路網計画」と生活道路を対象とした「地区内道路網計画」により構成し、それぞれの計画に調布市の将来都市像の実現に必要な「目指すべき道路網」、整備の優先度を明示した「道路整備プログラム」を設けました。

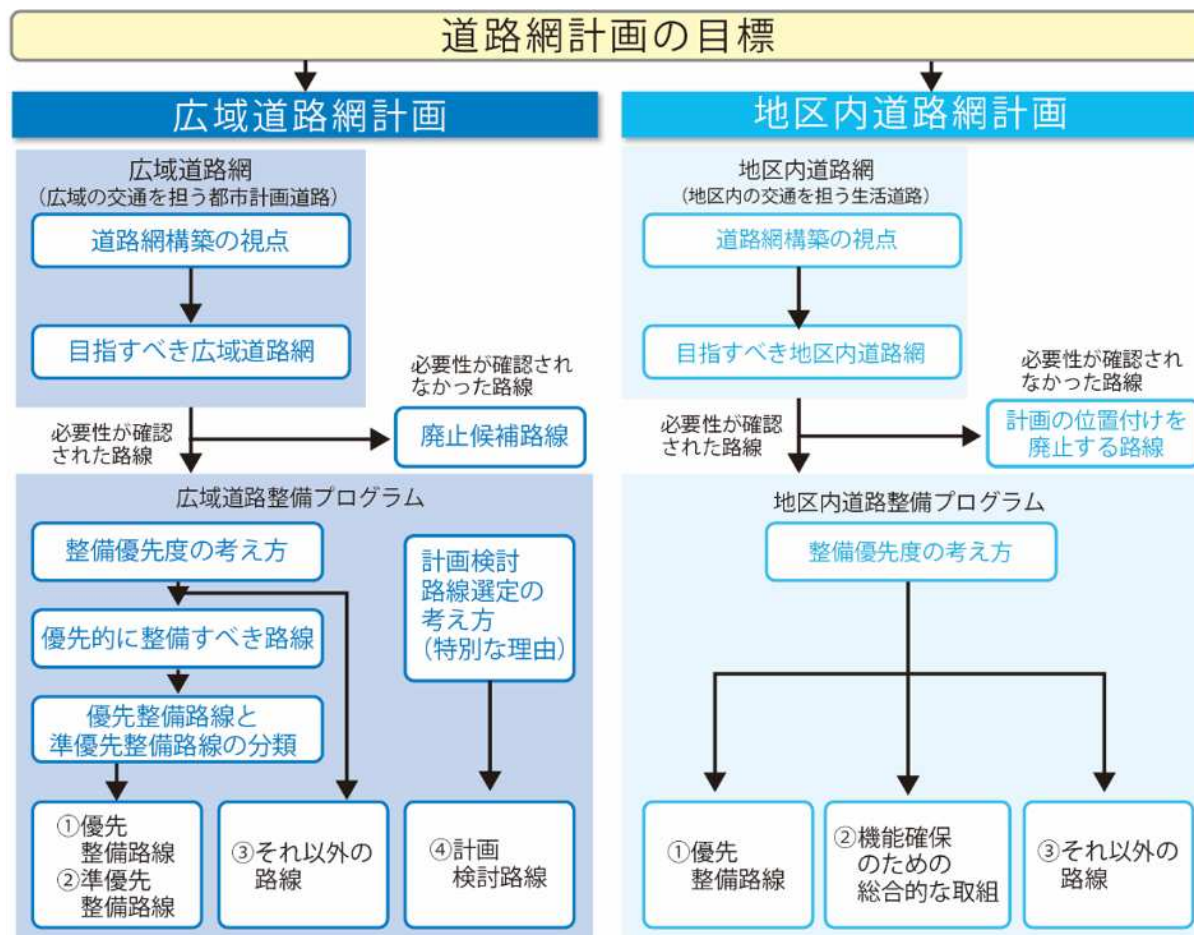
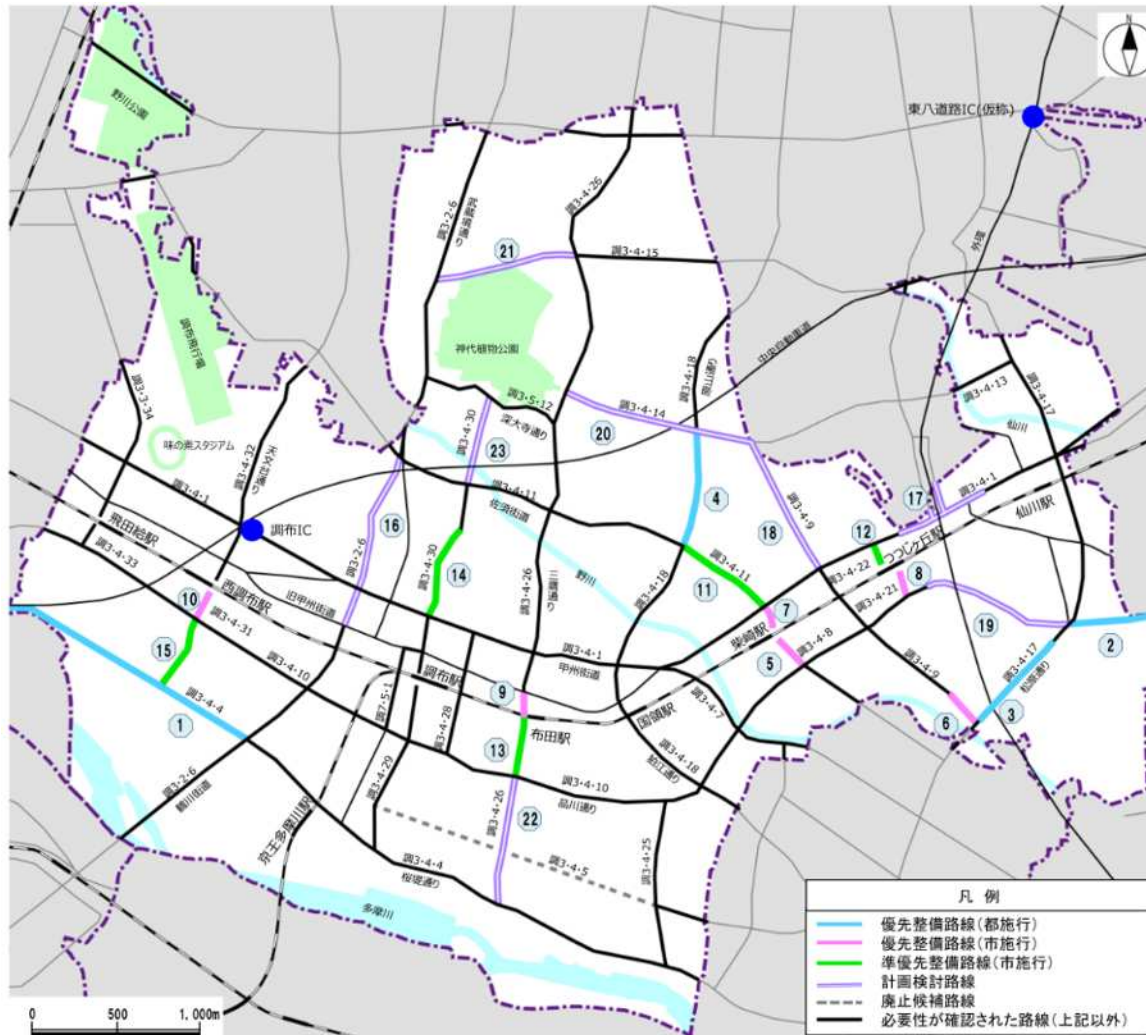


図 道路網計画の構成

調布市道路網計画 — 広域道路整備プログラム —



効率的・効果的に道路の整備を進めるために、目指すべき道路網の整備優先度の考え方をまとめ、「優先整備路線」を定めています。また、優先整備路線の他に、優先整備路線の次に整備または着手する「準優先整備路線」、都市計画の内容について検討する必要がある「計画検討路線」を定めています。



図 広域道路整備プログラム

広域道路網	内容
優先整備路線	平成28年度から令和7年度までの10年間で、整備または着手する路線
準優先整備路線	優先整備路線の次に整備または着手する路線
それ以外の路線	整備優先度の考え方に該当しない路線
計画検討路線	特別な事由により、道路の線形、幅員、位置、構造の変更など都市計画の内容について検討する必要がある路線
廃止候補路線	道路網構築の視点に該当せず、必要性が確認されなかった路線

調布市道路網計画 ー計画検討路線ー

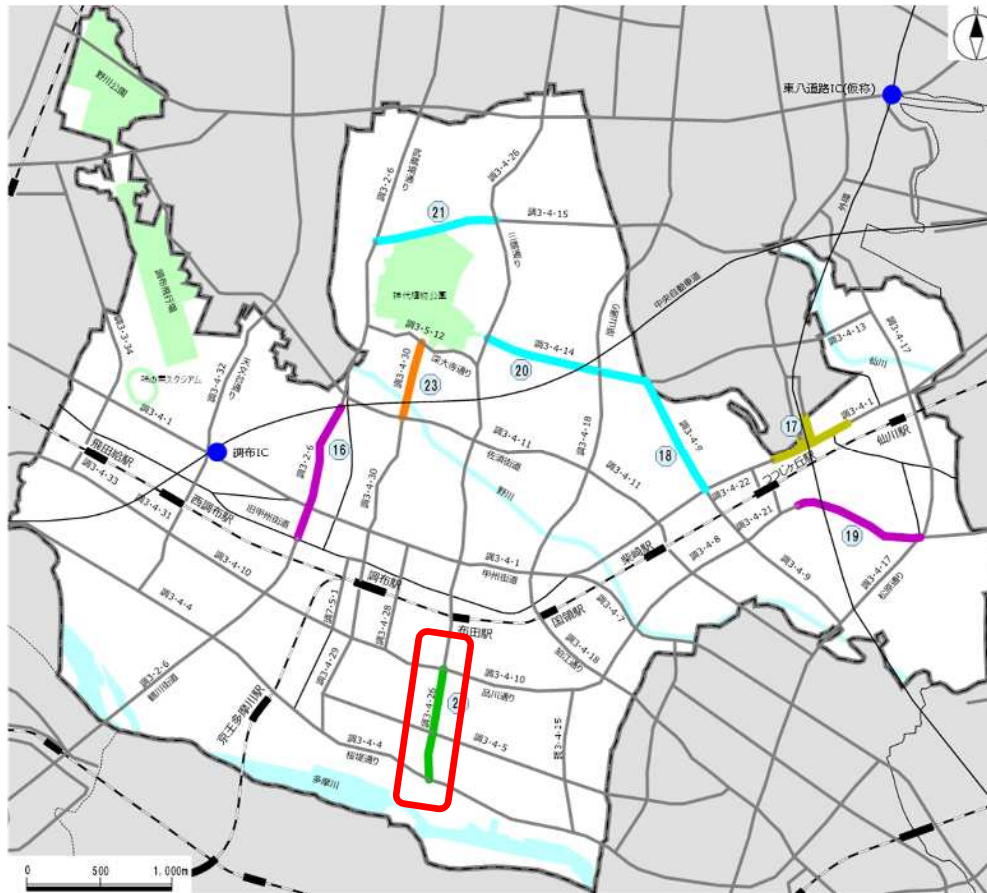


図 計画検討路線 位置図

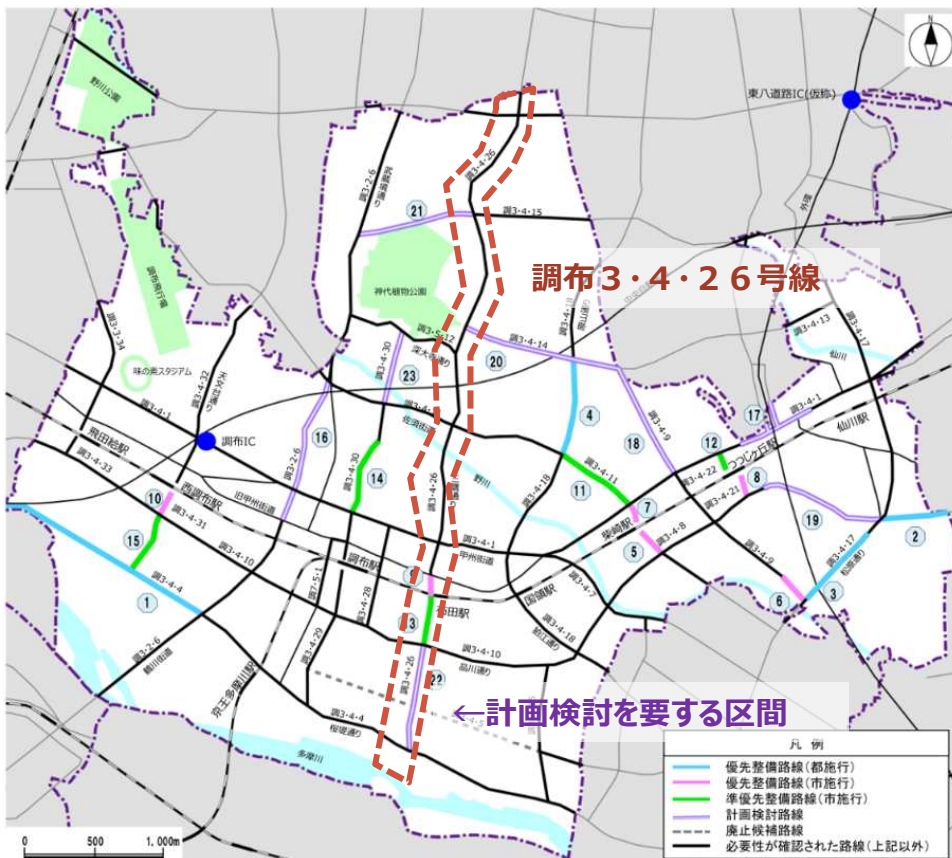
計画検討路線とは、広域道路網として必要性が確認された路線のうち、特別な事由により、道路の線形、幅員、位置、構造の変更など都市計画の内容について検討する必要がある路線です。



- 現地の状況により、検討が必要な路線
- 計画線上に国指定史跡があり、かつ史跡の復元等にあたり検討が必要な路線
- 隣接市区と調整が必要な路線
- 既存道路を活用し、都市計画道路の機能を代替できる可能性のある路線
- 第三次事業化計画において要検討路線に位置付けられており、引き続き検討が必要な路線

調布3・4・26号線とは

調布3・4・26号線は、昭和37年（1962年）に計画決定された都市計画道路です。



調布3・4・26号線の概要

名称：調布都市計画道路3・4・26号多摩川三鷹線
起 点：染地一丁目
終 点：深大寺東町七丁目
延長約：4,830m
計画幅員：16m

計画検討を要する区間

染地二丁目交差点から椿地蔵前交差点までの
延長：約770m

調布3・4・26号線 道路網計画における必要性の検証

道路網計画の目標を踏まえ、道路網構築の視点として7つの検証項目を設定し、必要性の検証を行いました。

道路網構築の視点		広域 道路網	地区内 道路網	目標
①	鉄道駅へのアクセス性向上に資する道路網の構築	●	●	快適 便利 安全
②	救急搬送を支える道路網の構築	●		快適 便利 安全
③	地域の拠点や主要施設への安全で快適な移動を支える道路網の構築		●	快適 便利 安全
④	道路混雑の解消に資する道路網の構築 ※	●		快適 便利 安全
⑤	緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築	●	●	防災 減災
⑥	緊急時の避難を支える道路網の構築		●	防災 減災
⑦	火災時の延焼を防ぐ道路網の構築	●		防災 減災
⑧	中心市街地のにぎわいの創出に寄与する道路網の構築		●	活性化
⑨	観光振興に寄与する道路網の構築	●		活性化
⑩	都市の低炭素化を促進する道路網の構築 ※	●		環境・ 社会課題
⑪	住みやすいまちを形成する道路網の構築		●	環境・ 社会課題

図 道路網構築の視点

※道路網構築の視点のうち、「道路混雑の解消に資する道路網の構築」、「都市の低炭素化を促進する道路網の構築」は、道路整備による効果を確認する視点として設定

道路網計画における必要性の検証

- ② 「救急搬送を支える道路網の構築」
- ⑤ 「緊急時の物資や活動人員の輸送を支える道路網の構築」
- ⑦ 「火災時の延焼を防ぐ道路網の構築」
- ⑧ 「観光振興に寄与する道路網の構築」

調布3・4・26号線は上記の評価項目に該当することから、必要性が確認されています。

調布3・4・26号線の「特別な事由」

調布3・4・26号線の計画線上にある国指定史跡の保存活用の動向に配慮するとともに構想橋りょうである（仮称）第二多摩水道橋も視野に入れた検討が必要な路線です。

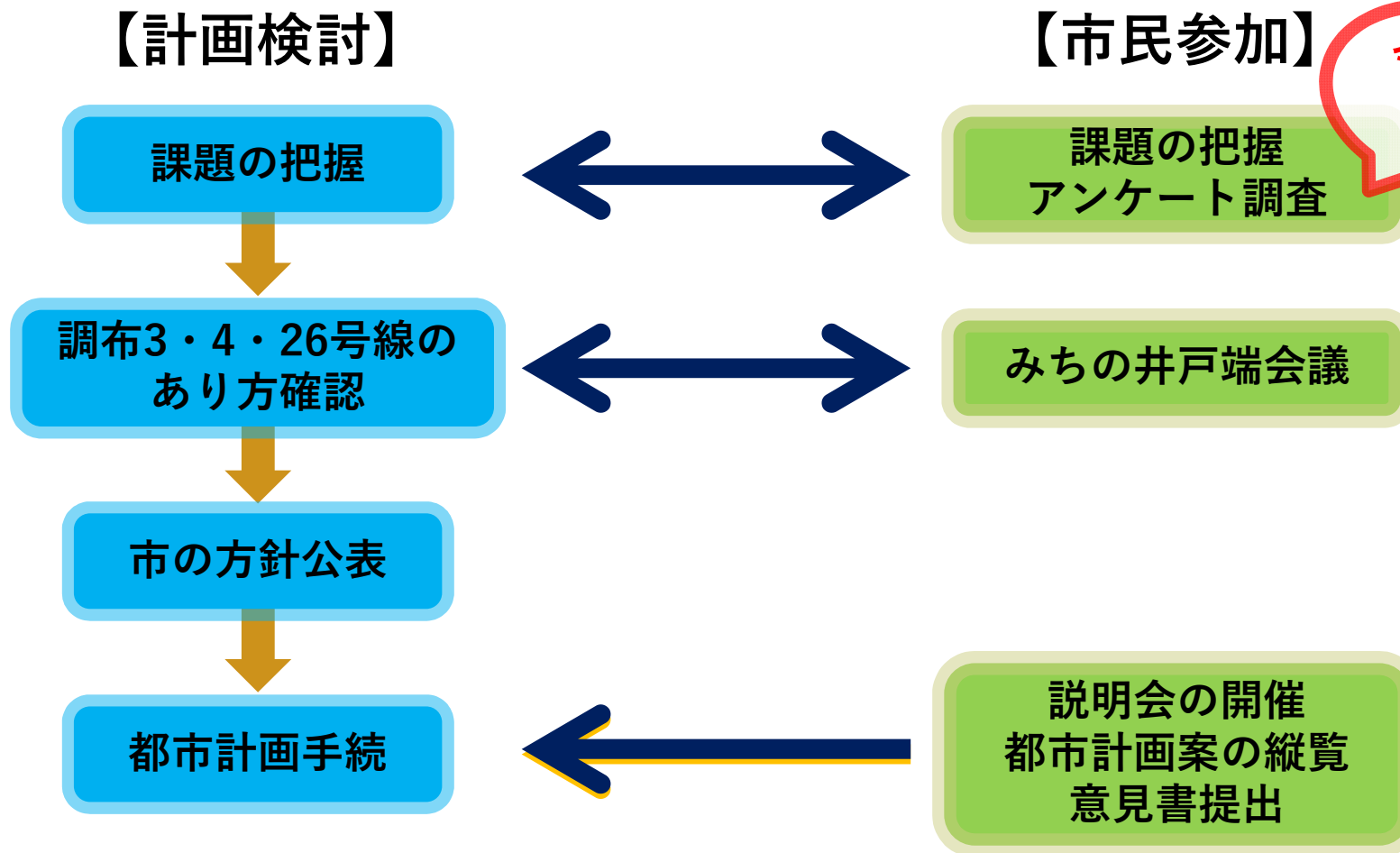
○調布3・4・26号線は、計画線の一部が国の指定史跡である「下布田遺跡」と重複しており、史跡に配慮した検討が必要となっています。

○また、当該区間の南側には、東京都の多摩川中流部架橋計画において、（仮称）第二多摩水道橋が構想橋りょうとして位置付けられており、この構想橋りょうの整備も視野に入れた検討が必要となっています。

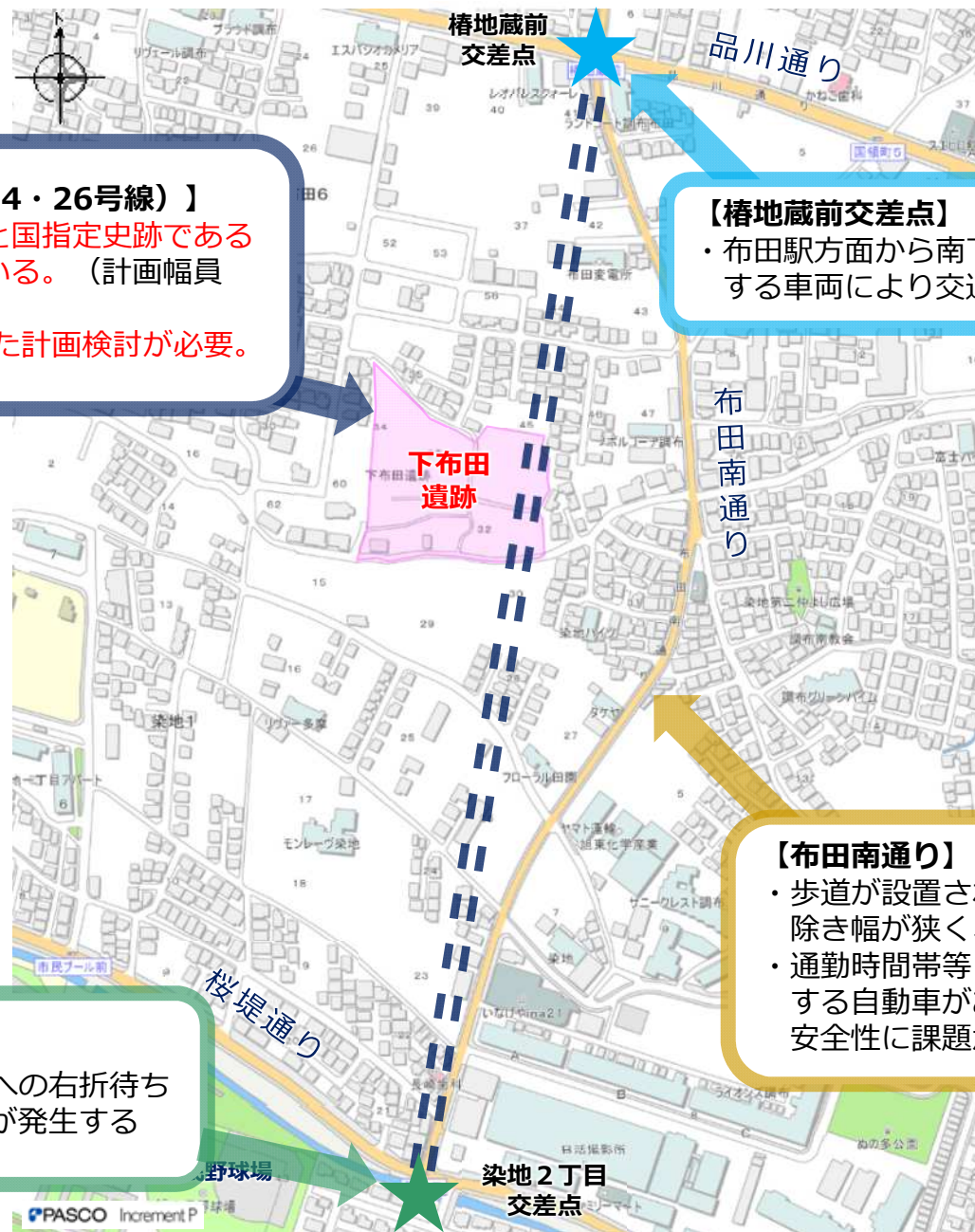


今後の検討の進め方

みちの井戸端会議とアンケート調査等による市民の皆様のご意見を踏まえ、調布3・4・26号線のあり方を検討して参ります。



調布3・4・26号線の現状



【都市計画道路（調布3・4・26号線）】

- ・都市計画道路の計画線と国指定史跡である下布田遺跡が重複している。（計画幅員16m）
⇒ 下布田遺跡に配慮した計画検討が必要。

【樁地藏前交差点】

- ・布田駅方面から南下し調布方面へ右折する車両により交通の滞留が発生する

【布田南通り】

- ・歩道が設置されているが、一部区間を除き幅が狭く、すれ違いができない
- ・通勤時間帯等にスピードを出して通過する自動車があり、交差点での横断の安全性に課題がある

【染地2丁目交差点】

- ・桜堤通りから布田南通りへの右折待ちの車両により交通の滞留が発生する

ご意見をお聴かせください

歩道が狭く、自転車も多いため危ない

自転車で走りやすい道が少ない

下布田遺跡は地域にとって重要な場所なので保存してほしい

渋滞する箇所の対策を検討してほしい

3・4・26号線及び路線周辺に関する事、下布田遺跡の保存活用と道路整備の関係など、どんなことでも結構です。日頃、気になっていることをお聴かせください。